

第9章 検索履歴の活用

History 画面では、同一セッション内の検索履歴が自動的に保存されています（セッション終了後は削除されます）。検索条件の編集、Alert の設定、検索結果の閲覧、検索結果の保存を行うことができます。

1. History 画面の概要

History 画面です。検索履歴が自動的に保存されています。

- ① Edit :
検索条件を検索画面に再現
- ② Create Alert : Alert の設定
- ③ View : 検索結果の閲覧
- ④ Store : 検索結果の保存

ここでは、Store をクリックして、検索結果を保存します。

- ⑤ 名称とコメントを入力して、Save ボタンをクリックします。
- ⑥ 保存された履歴は区切りの下に表示されます。

2. 集合演算

演算の対象としたい結果番号を選択して、**Combine hitsets** をクリックすると、集合演算を行うことができます。

3. 集合演算

4 種類の演算パターンが表示されま
ず。ここでは、“Overlap 7 with 6”
を選択し、両者を含むものを検索しま
す。

集合演算した結果も検索履歴として
保存されます。

Query	Temporary result description
<input checked="" type="checkbox"/> 10 <input type="checkbox"/> 9 Ru Edit Create Alert Reactions: Reagent/ Catalyst, Substructure: on all atoms	181131 reactions Reactions: Reagent/ Catalyst, Substructure: on all atoms 48970 citations
<input checked="" type="checkbox"/> 8 <input type="checkbox"/> 7 Edit Create Alert Reactions: Substructure: on all atoms, No additional rings	2327 reactions Reactions: Substructure: on all atoms, No additional rings 1074 citations

<集合演算の種類>

	どちらかを含むもの (OR)		6 - 7 (NOT)
	両者を含むもの (AND)		7 - 6 (NOT)
<p>3 つ以上の集合で演算することも可能です。 その場合は「AND」、「OR」のどちらかを選択します。</p>			